

基本設計（案）に対する第 11 回複合施設基本設計検討委員会における委員からの意見とそれに対する市の考え

委員名		意見の内容	意見に対する市の考え
A 委員	広場	施設の広場でイベントを行う際には、施設の店舗などと連動して行くと、広場の可能性がさらに広がるのではないかと。大きなイベントにこだわらず、平日休日問わず、市民が身近に参加できるようなイベントのある広場となしてほしい。	基本設計段階ではハード面での条件整備を行っておりますが、ご意見については、建物や広場の管理運営にかかわるものなので、今後の管理運営計画策定の過程において検討してまいります。
B 委員	広場	ワークショップでの意見をみると、広場の使い方に多様性があるが、外構はどのようにする予定なのか。子どもが遊ぶための芝生の広場なのか、イベントを想定してキッチンカーが出入りできるような石張りのような平らな広場なのか、憩いの場となるように樹木を配置するのか、意見をすべて考慮すると検討が難しくなってしまうように思う。テーマを 1 つに決めて広場をつくっていくのはどうか。	広場の外構については、「施設と広場との繋がり」を第一に考えて今後検討します。
C 委員	広場	ワークショップにて広場で夜市を開催したいという意見があったが、近隣住民の迷惑とならないように、照明の配置や騒音対策などを今後の検討課題としていただきたい。	今後の設計業務や管理運営計画策定の過程において検討してまいります。
B 委員	外構	小峰通りと平面計画の広場について高低差が生じていると思われるが、この高低差はどう処理するのか	検討段階ではあるが、ここに高低差が生じると、小峰通りと敷地が分断された印象になってしまうため、小峰通りと広場がなだらかに繋がるように今後の設計業務の中で検討してまいります。
B 委員	外構	敷地南側の車路について、道路と敷地には高低差があるが、当初の設計から地盤面の高さを変更しているのか。	現時点で地盤面の高さの変更はなく、車路にスロープを設けることで道路と敷地の高低差を解消する予定です。
A 委員	外観	外観について、前回は木のモダンな感じがあったが、現行案ではそれが感じられない。コミネスと外観が似ているような気がするので、今までの白河にない新しい外観デザインにしてほしい。	基本設計の段階なので、外観についてはあくまでもイメージであり、確定ではありません。今後の設計業務の中でより具体的に外観デザインの検討を進めていく予定です。
D 委員	IT 研修室、女性サポートステーション、工作室、音楽ルーム	施設は 1 階だけでなく 2 階も市民が多く賑わうフロアになると予想されるが、活動的な機能を 2 階部分に導入してみてもどうか。女性のワークスペースやお仕事サポートステーション、IT 研修室は実質的にパソコン作業が多く、動きが少ない印象があるので、これらの 2 階に配置してある諸室と、3 階の工作室や音楽ルームのような動きが分かりやすい諸室の入れ替えを検討してみてもどうか。	女性のワークスペースは、女性向けのスキルアップセミナーや、働くことに関する相談会等の就労支援を行うことを想定しています。これを 2 階に配置している理由は、子育て支援関係の窓口や、ファミリーサポートセンター、1 階託児スペースとの連携を図り、ワンストップで支援を行えるようにする意図があります。なお、このエリアを「女性のワークスペース」と「お仕事サポートステーション」と切り分けるのではなく、子育て中の女性をメインとした不安解消・仲間づくり・就労支援を行う「女性サポートステーション」として一体的に活動展開できるように基本設計段階で反映し、その運営のあり方等については、今後の管理運営計画策定の過程において検討してまいります。
D 委員	IT 研修室、女性サポートステーション	女性ワークスペースがコワーキングスペースなのであれば、市内にはいくつかコワーキングスペースがあるので、隣接している IT 研修室と女性のワークスペースを統合し、多様な使い方ができる諸室にしてみてもどうか。	IT 研修室については、パソコンの常設は想定しておらず、高齢者向けのスマホ教室や会議などの多目的な利用に対応できる仕様にしたいと考えています。女性ワークスペースは女性向けのスキルアップセミナーや、働くことに関する相談会等の支援を想定しています。女性ワークスペースと IT 研修室の連携は考えているが、別の諸室としての機能を確保するためこのような配置としています。 なお、IT 研修室については、パブリックコメントでの意見・提案もありましたので、少人数グループの施設利用にも対応できるよう移動できる間仕切等の設置を検討してまいります。また、多目的な利用ができる諸室として名称変更することとし、具体的には複合施設管理運営計画（仮称）を策定する過程において、検討を進めてまいります。
D 委員	学習ルーム	2 階学習ルームについて、現在の案では 4 人掛けの机・椅子が複数あるが、4 人掛けの机・椅子についてはすでに市内の公共施設に複数あるため、新しい施設のなかには不要なのではないか。世間では WEB 会議などができる個室ブースの需要が高まっているように思う。	現時点では、部屋だけではなく箱形の個別ブースも施設各階に設けるような方向で検討しています。学習ルームについては、これまでのパブリックコメントやワークショップでは、個人利用での学習するスペースを十分に確保してほしいという意見がありましたので、他のフロアの交流スペースも含めて、学習ルームのあり方について今後の設計業務の中で検討してまいります。

D委員	和室	2階和室について、予約時以外には、そこで休んだり、昼食を食べたり、勉強ができたりと市民が自由に使えるようにしてもらいたい。和室のテラス側は開放し、縁側として利用できると理想的である。	施設を利活用する観点から、和室が予約・利用されていない場合には、自由に使えるよう開放することについて、今後の管理運営計画策定の過程において検討してまいります。 テラスと連続した形で利用できるよう和室への縁側の設置について基本設計段階で反映します。
E委員	生きがいきり機能の諸室全般	全体的に諸室の面積が大きいに思う。最近是小規模のセミナーや会議の開催など、小さな諸室のニーズが高まっている。必要に応じてパーテーションで仕切れるような構造の部屋があると使い勝手がよいのではないか。	「IT研修室」については、パブリックコメントでの意見・提案もありましたので、少人数グループの施設利用にも対応できるよう移動できる間仕切等の設置を検討してまいります。また、多目的な利用ができる諸室として名称変更することとし、具体的には複合施設管理運営計画（仮称）を策定する過程において、検討を進めてまいります。
D委員	工作	3階工作室には個人で買えないような器具・機器を設置してほしい。	市民ニーズを踏まえ、備品等の詳細は今後検討してまいります。
A委員	調理室	2階調理実習室も同じように、現在の市内の利用率から考えると規模が大きすぎると感じる。小規模な料理教室などは人数が4、5人想定の場合も多いので、マイタウンにある調理実習室の大きさは調度良いのではないかと思う。一方で、営業許可などを取り、調理実習だけではなく営業利用もできると広い面積の調理実習室は無駄にならないと考えるので検討してほしい。	調理実習室の面積は、現在の中央公民館の調理実習室の規模を反映しており、調理実習室で作った食事をそこで食べられるよう、面積を確保しています。また、営業許可・製造許可が取れる設備や仕様とする方針で引き続き検討してまいります。
C委員	生きがいきり機能	現在の公民館は、諸室利用が抽選になるほど、利用者が集中している。今回の施設では、各諸室の利用方法を限定的にせず、多目的に利用できるよう諸室の運用を検討してもらいたい。	現行案の生きがいきり機能では、現在の中央公民館で活動できるスペースの1.3倍程度の面積を確保しています。また、1階の市民交流ルームもサークル活動等で利用できる諸室となっているため、現在の中央公民館のような状況は改善できるものと想定しています。各諸室についても、主な用途を想定し、設計・プランを検討していますが、運用上、利用用途を限定的にしないことで、サークル活動等の利用者が多目的に活用できるのではないかと考えています。具体的には複合施設管理運営計画（仮称）を策定する過程において、検討を進めてまいります。
F委員	音楽室ルーム①	音楽室ルーム①にもバックヤードを設置してほしい。	基本設計段階で反映します。